

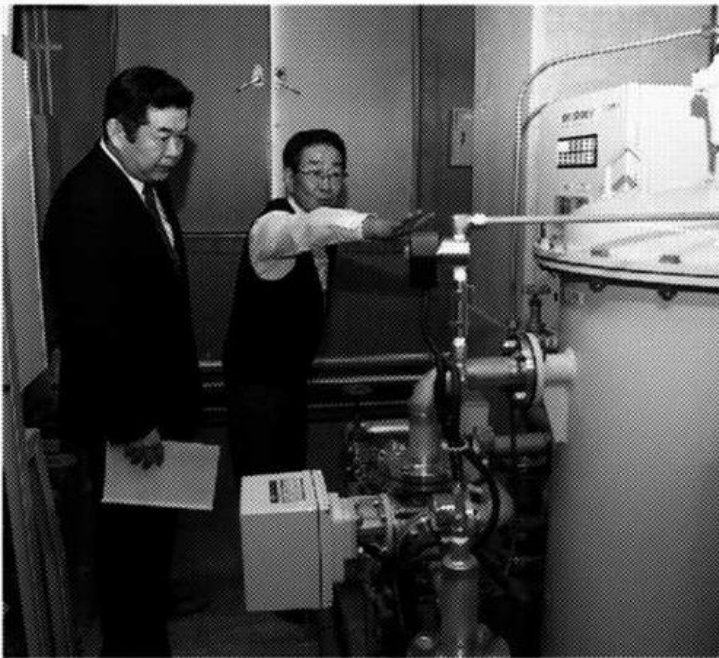
集団感染の防止へ

特養ホームの殺菌設備視察

で議
栗山町
荒当道

北海道議会公明党の
荒当聖吾議員は先ご
た。

ろ、栗山町の特別養護
老人ホーム「くりのさ
と」を視察。浴槽水の
衛生管理について、関
で多発していることを



浴槽水の殺菌処理システムについて
説明を受ける荒当議員

受けて、同施設は20
07年2月、低濃度(0
・3〜0・4ppm)
のオゾン水を利用して
浴槽水の殺菌処理を行
うシステムを導入し
た。

同施設の梅津弥須治
理事は「浴槽水の水質
を水道水以上の基準で
一定期間保つことがで
きる」とシステムの有
用性を説明。その上で、
「浴槽水を入れ替える
回数が減り、水道代や
燃料費の削減にもつな
がる」と話していた。
視察を終えた荒当道
議は、「高齢者の安心
を守るため、感染症対
策に力を入れていきな
い」と語っていた。

2014年1月26日付 公明新聞 北海道版掲載

くりのさとでは、完オゾシステム導入により、浴槽水<1回/3ヶ月>換水で運用。
浴槽感染防止効果はもとより、大幅なランニングコスト削減効果があります。(完オゾ導入
後 水道代1/50, 燃料代1/9)
平成24年度より、完オゾ省エネ補助金(経済産業省 エネルギー使用合理化事業者支
援事業)対象モデル施設として、見学等ご協力頂いております。